

## 茂原市学校再編に関する住民意見交換会 議事録

### 【豊岡小学校】

- 日 時：令和3年5月15日（土）14：00～15：50
- 場 所：豊岡小体育館
- 参加者：35名
  - ・ 審議会委員 3名
  - ・ 事務局 18名

教育長	内田 達也
教育部長	中村 一之
教育部次長（教育総務課長）	佐久間 尉介
学校教育課長	金澤 勤
学校教育課主幹	伊藤 信博
学校教育課主幹	宮内 智之
教育総務課長補佐	小安 宏尚
教育総務課学校再編推進室長	大橋 康博
教育総務課総務係長	吉野 司
教育総務課学校再編推進室主査	石田 卓也
教育総務課総務係副主査	太田 智弘
教育総務課学校再編推進室主事	紺野 晃弘
教育総務課学校再編推進室	深山 秀樹
教育総務課学校再編推進室	狩野 久志
防災対策課長補佐	中村 敬紀
企画財政部次長（企画政策課長）	木島 成浩
土木建設課長補佐	細谷 明弘
土木管理課長補佐	鈴木 久幸

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 茂原市の学校再編について 事務局にて資料に基づいて説明
- 4 意見交換

（以下、意見交換）

住 民 体育館も綺麗になり、豊岡小は、自然豊かで、本当に恵まれた教育環境だと思っている。子供たちの教育環境をまず第1に、教育が考えていくのだということもいわれる、まさに豊岡小は、非常に素晴らしい環境だと思っている。令和8年に統合という計画を進められているようだが、その統合される本納小学校、どう考えても、豊岡小学校よりも教育環境が良いとは全く思っていない。水害の心配。それからガスの問題、不安材料がいっぱいである。令和元年の10月の水害では、本納中の北面で70から80センチ浸水している。そういうところに、今度は本納小学校、5年後には、豊岡小も統合されるということが計画されているわけで、私個人的には、全く理解で

きない。本納小学校に統合されるということについては反対する。

地区住民に対しての説明会、教育に対しての理解を深めるために頻繁に  
していただいて、地区住民が納得できるような、教育行政を進めてほしい。

佐久間次長 茂原市の第一次実施計画の中で、本納3地区につきましては、3小学校を  
統合し、特色ある教育を進めていくというような形で方向づけができてい  
る。学校再編審議会から、豊岡小の統合については、令和8年4月1日まで  
に統合という案が示されたので、本日はこの案について、皆様にお話をしよ  
うということでこの会を催している。

大橋室長 ガスの問題は、新校舎についてはすべての教室、倉庫、トイレ、階段の上  
部にガス警報器を設置する。また、天井裏、地下ピット内にたまらないよう  
に、壁面に通気孔を設けて、自然に換気されるようにする。また屋上に上ガ  
スの排出通気管を設けて、効率的に排出する。専門業者と話をして、自然換  
気をすること、警報が鳴った時には、窓を開けるということで十分な対策が  
とれるとなった。

金澤課長 令和元年の10月に未曾有の大雨が降り、本納中学校周辺にも水がたくさ  
んたまった。その時は茂原市全体で、いろんなところで水がたまり、被害が  
出た。それまで子供たちの登下校は、中学校区を基本としながらも、校長判  
断で行っていた。しかし、一定の基準を設けなければいけないというこ  
とで、令和2年4月から気象庁から大雨警報や洪水警報が出た段階で、朝6時  
となれば茂原市全体の学校はすべて臨時休業にすることとした。  
今後は、大雨の中を子供たちが登校したり、下校したりということがないよ  
うに基準に応じて対応する。

住 民 今回は学校再編の問題で、本納小学校を、あの水害のあった中学校に建  
設、そして更にそこに新治小、そして5年後には豊岡小も一緒になると。小  
中一貫校という形、その教育概念というか、それについて、1からすべて否  
定反対するものではないが、不安材料の多いところに、心配のない所から何  
で行かなきゃいけないのだという、単純な私の質問である。新たにすばらし  
いところで、豊岡小よりも条件がいい、父兄としても心配がない、将来につ  
いても安心できるということであれば、反対しない。茂原市内でも5回も災  
害があったから、本納も水害が起きてもしょうがないというような言い方を  
やめて欲しい。災害のない安心して子供が教育を受けられるような環境にし  
てもらいたい。子供たちの教育環境を第1に考えていると。素晴らしいこと  
だと思う。そういうことでぜひ進んでいただきたいという意見である。

住 民 中学校の中に小学校を建てるということで、いろいろ聞いてきた。豊岡小  
学校の環境はいい。そして今度、本納中学校に小学校ができて、子供たちが  
行った場合、窓を開ければ、電車がゴトゴトゴトゴト、信号機がチンコカチ  
ンコカ、雨が降ると大水が出る。先ほど、本納だけでなく茂原も大水であっ  
たと言っていたが、その茂原も早くから何とか対策をとればいいじゃないか  
と。豊岡村の役場があった。幼稚園まで本納に行ってしまった。今度は小学

校まで、本納に持っていっちゃう。このような環境の中で、人数が少ないからといって、他へ行く。人数が少なくてもいろんな行事ができる。先ほど説明で、大勢だといろいろな運動会やクラブや何かができると言っていたが、それは大間違いだ。例えば、新治小の運動会を見てほしい。部落全員が出てやっている。この豊岡小学校は、やはり皆さん大勢集まって、いろんなご馳走を家庭で作って、隣同士、分け合って食べている。

大水が出る前に、あの乗川をきちんとして、よく水が流れて、もう災害、大水は出ないと。というような話を、並べていただければ、私どもはそうか、そんなによくなったかと。そういう考えである。

バスを、こっちから行くということ。そうした場合、乗り遅れたら、また来てくれるのか。迎えに。この対策はどうなっているのか。

いろいろこの説明書の文章はうまいことが書いてあるが、教員の足りなさとか、指導のあり方は、うまくいかないということですけど。その点は排除して、豊岡村から、町中に持っていかないでいただきたい。

金澤課長 仮にスクールバスが出てそれに乗ることになると、この停留所からは誰々君と誰々君が乗ることがわかるわけで、前もって乗らない場合には、連絡がいつているとか、そういうことを確認することは当然出てくる。もう少しで間に合ったけれど乗れなかった、そのようなことが極力ないような対応策も当然これから考えていく。

細谷補佐 乗川の工事関係としては、南白亀川水系の赤目川と一緒に進捗を図る。だいきく食堂さんとポポラーレさんの交差点から、本納中の方へ向かったところの橋が乗川にかかっているが、まずはその橋の改修をする。そこから南の方に向かって改修していく。その後、赤目川改修が乗川との接合部までできた段階で、下流の方に工程を合わせて改修したい。赤目川の事業期間が令和15年までとなっているので、それに合わせながらやっていく。

住民 今、建築中の建物三階建てで、非常階段がなくて、脱出シートを使うことを耳にした。非常階段はつかないのか。

大橋室長 非常階段はつかない。避難経路は階段の他、2階と3階に斜降式の救助袋を設置する。

住民 緊急の場合は、3階の生徒はどうするのか。

大橋室長 緊急の場合は基本的には、階段から避難をする。階段からの避難が難しいケースの場合には、斜降式の救助袋を使って降りる。

住民 道路の方か、校舎の中か。

大橋室長 校舎の南側に降りてから、グラウンドの方へ向かわずに、一度道路に出て避難する計画になっている。

住民 子供たちの教育のことを考えてみた。世の中全体がグローバル化、それからIT化が急激に進められてきている中で、求められることが違ってきている。どこで学ぶかっていうことも大事だと思う。もう一つ大切なのは、どういふふうな学びを子供たちに、教育環境を保障していくかっていうことにな

る。GIGAスクールの推進、それから、IT、ICT、情報通信技術力の活用力が求められる。子供たちにとってどういう教育、子供の最善の利益を考えたときに、今後を見通した教育を中心に考えていただきたい。それともう一つ、子供たちに意見を聞いていただきたい。自分に関わることについては意見を述べるができるという、子供の権利条約の12条にある。あともう1点、学校とかいろんな公的施設は、地域の中核として大切に守り育てられてきた。そういったものが、変わるっていうことに非常に私も抵抗がある。なくなる不安は、そういうところも含めて、今回いつまでに統合するかだけではなくて、住民が描けるような計画に策定いただきたい。

金澤課長 グローバル化が進んでいる。学校の授業においては、小学校3年生4年生の外国語活動、5年生6年生の外国語科においては、外国人指導助手をすべての授業に配置をし、話す力、聞く力、書く力、読む力、総合的な外国語の力を高めるような教育を進めている。ICT教育ではGIGAスクール構想という言葉に代表されるように、小学校1年生から中学校3年生までに1人1台、コンピューターが配られた。そのコンピューター活用を進めながら、ICT教育を進めていく。

いろいろな学びがあるが、一番意識をしているのが、主体的・対話的で深い学びである。一人一人個性があり、違うわけだが、個別の支援をしながら、一人一人にいろいろな力がつくように配慮していく。

佐久間次長 二宮小学校と緑ヶ丘小学校の統合に際しましては、統合前の2月に、子供たちにアンケート調査をした。その後、統合になった6月に、子供たちの考えがどう変わったかについてアンケート調査を行う。本納に関しても、統合前後でアンケート調査を考えている。

中村部長 統合後のまちづくり、跡地利用についてお答えする。跡地利用の基本的な考え方としては、小中学校に関しては、売却ではなくて賃貸ということで基本的に考えている。ここは地域の避難所になっている、その機能は残す。その上で、庁内からの需要であるとか、民間からの提案を受け、そして皆さん方からの意見も踏まえて、地域にとってどういう施設がいいのかを検討していく中で、地域にふさわしい場所にしていく。

住民 子供に、豊岡小がもしかしたら統合になる、他の学校の本納小に行くかもしれないという話をしたら、豊岡小じゃなきゃ嫌だという。子供の気持ちを考えると、ソフト面とかハード面という部分も大事だが、やはり子供の行きたい学校に通わせたい。豊岡以上の環境に行くのであれば、皆さん納得すると思うが。豊岡を残してもらいたい。

中村部長 統合にあたって、不安があろうかと思う。新しい校舎に関しては、今年の9月に学校として移転する、その前に内覧会をやる。実際に中をご覧になっていただくと、印象が変わるかもしれないので、是非ともそういう機会を、また日程等を決定いたしましたら、皆さん方にお知らせする。

本納小学校が移転して、運営して、その中でいろんなご意見もあろうかと

思うので、情報提供したい。

住 民 この恵まれた環境の中で子供たちを教育していただきたい。統合自体が駄目とは思わない。ただ環境は、本当に恵まれた場所だと思う。ここの学校をこのまま継続していただきたい。

体育館の脇、体育館の水路側のフェンスは改修せず、残して何もやらないという計画になっていると思う。今回の工事では、そこのフェンスの改修が行わないと伺っているので、もし改修計画がなかったら、是非ともそのフェンスを、新しく改修していただきたい。必ず9月までには、そこを施行してほしい。

佐久間次長 必要な修繕等の箇所については、対応していきたい。

住 民 環境面からいって、豊岡よりいいところはない。中学校のところで小学生を通わせるよりは、豊岡小学校に通わせてままだにしようって最近思っている。水害とか、校舎が小さいとか、新しい環境でということもあるけど、一番心配したのが、本納地区の防犯状態が非常に悪くて、毎日のようにLINEニュースに、刃物を持った人が歩いていたとか、小学生が盗撮されたとか、そういったことが入ってくる。豊岡も、人通りのないところもあるが、地域の方々が協力してくれていることをすごく感じているので、本当に統合するのは反対する。

大橋室長 今、豊岡小の児童数が170人ぐらいである。令和7年が推計ですと130人程度という推計になっている。しかし、資料の27ページの記載には97人とある。これは住民基本台帳で、実際に地域にいるお子さんの数を参考にして出したもの。前回、アンケート調査した結果では、市全体で、統合されることはやむを得ない、積極的に統合すべきであると回答された方は78.8%。これに対して、豊岡小さんの場合は、61.3%でありやはり低い。

我々が今やろうとしていることは、令和8年4月ということで、今現在というところよりは先を見た中でご意見を伺うというところが、今回の部分となっている。

住 民 防犯面とか、本納に行くことに不安だ。統合は数の問題ではあるかもしれないが、豊岡小学校を残して、防犯や水の対策が必要などころには行きたくないっていうのが正直な意見である。

金澤課長 防犯の関係では、学校の方において、常に子供たちが安全に生活できるように、安全教育をする。仮に統合になった場合は、スクールバスでの登下校になる。途中の不審者についてはある程度クリアできるとも考えている。中学校に上がった場合、やはり中学校でも、集団下校しなさいとか、明るいうちに帰りなさいとか、もし不審者にあったら、こういうふうに対応しなさいってことは常日頃言っているし、そういう訓練等もしている。子供たちが安全に登下校できるように、これからも学校の方も十分注意していく。

住 民 本納ニュータウンを見込んだ児童生徒数は、令和8年の、豊岡も含めての、小学校計の人数270名11学級数。新校舎は8教室である。教室は本納中

の空き教室を活用と伺っているが、果たしてその本納中の空き教室っていうのは、小学生高学年が行くとしても可能か。

統合は私も反対ではない、反対ではないけれども、あの場所に反対だね。何回こう意見交換会や説明会に出ても納得できるような考えにはならない。あの場所には、無理があるのかなと思っている。

金澤課長 令和8年度が20学級で一番学級数が多い。本納中学校の教室が24なので、教室は足りる。子供たちが、中学校の教室を使用することについて、以前小学生を中学校に連れて行き市教委の方としても検証している。子供たちが対応できると判断をしている。

住民 資料の29ページのところで、乗り入れ授業について、本納小学校と新治と豊岡が同じではないのが気になる。中学校へ行くと同じ学年になり、心配である。本納スタンダード作成実施も書いてあるが、この意味もわからない。あと、水泳教育が事業委託というかなんですかね。専門の水泳のところで学習すると。そういう意味では、その水泳も含めて、格差が出てこないかと。

金澤課長 乗り入れ指導については、4月から計画しているところでは、外国語科は、本納小5、6年生ではなくて、6年生で資料の方が、一部違っている。今のところ各3小学校には同じ数の、外国語科、それから、理科、音楽科で同じ授業に乗り入れすることになっている。水泳の授業については、本納小学校中学校はプールがなくなるので、民間の方に委託をして、水泳の授業を考えている。建物の中にあるので、天候に左右されない、専門的に指導しているスタッフに教えてもらえる内容等も今までよりも充実するのではないかと考えている。

住民 学校再編の一次計画ということで、特色ある教育を推進する、この特色ある教育とはどういうことか。

金澤課長 一つ言えるのが小中一貫教育ということで、今まで小学校と中学校はそれぞれ6年間と3年間の計画があり、いろいろな力をつけてきた。小中一貫教育という考え方から、9年間という捉え方にした中で、学習の繋がりを今まで以上に考えて指導していく。行事等でも、できるだけ一緒にみんなで取り組んでいき、望ましい人間関係ができるとか、中学生の場合は、小学生に見本となるような姿を見せたり、小学生は中学生の姿を見て自分もあになりたいなど、小中一貫教育のよさが幾つもある。

住民 運動会、小学校と中学校一緒にやるのか。一緒にやる場合、父兄の集場所等とか。狭い校庭にほとんど車で来ると思う。そういう場合の対策は。

金澤課長 今の段階では、運動会体育祭は、一緒にやりますとか、別々にやりますということは決定していない。一緒にやることができるのか、やることによってどういういい点があるのか、或いはやることによって無理が出てくるのかということの小中学校できちんと話を進める中で、子供たちのためになるよういろいろ検証して進めていく。

住民 豊岡小がなくなり本納中の敷地に小学校が建つ、そういう話を聞いて驚い

ている。実際建ってみて、やっぱり小さい、狭い。そしてなぜ8教室しか建てないのか。なぜその前にもっと住民を交えて説明会が行われなかったのかなってというのが残念な点で仕方ない。話し合いの場をもっと設けて欲しかった。

シューターの件、避難経路の件、地図から見る限り、どこにシューターがおりるのか。道路に出てグラウンドに避難するとおっしゃっていたが、それを小学生にやれというわけか。あとグリーンベルトの件、この駐車場側から、遊具、体育館の横を通ってもグリーンベルトがあるのですけれども、ということは北門からも小学生が入るってということか。正門からも入るってということか。危険ではないのか。

駐車場、先生方も停める、そして保護者も利用して足りるのか。

大橋室長 駐車場整備の場所には保護者さんが停めることも想定している。そこで児童が降りた場合には歩道（グリーンベルト）を歩いて、雨の日でも足元が悪くならないような状態で歩けるといところが、ねらいの一つにある。もう一つは、ほのおか館の駐車場を朝の時間借りるような形で、相談をしている。その他、運用上の中で、今想定されているのは、時間帯が全部一緒になると混雑することがあるので、保護者の皆さんにご協力をいただきながら、その時間帯を少し調整するような方法ができればいいと思っている。この辺は学校側が運営をしていく形になるので、協議した中で、これが決まれば、皆さんの方に協力を求めていきたいと考えている。

シューターの件、図面を見てご理解くださいというのは非常に難しいと思うので、内覧会として、施設を開放して皆さんに見てもらおう形をとる。そのときに、この辺りが降り口になりますとお話ができると思う。内覧会は、地域も保護者も、豊岡の地域の方でも大丈夫だ。あともう一つは、小学生は無理ではとのことだが、避難はやはり階段が速い。ただ、階段で降りられなければシューターを使う。平常時に訓練をして、シューターから降りられる状態を作っていく。これは管理の一環でやるべきことだと思うので、そういった方法で対応していく。

宮内主幹 通学に関する危険箇所については、学校から危険箇所を挙げていただき、県の土木事務所、警察署、あと道路管理者と協議を行っている。グリーンベルトに関しましては、校舎移転に際して、早急にやるべき案件で、西側の道路のグリーンベルトの塗装を、今回お示しさせていただいている。その他、北側の本宿の踏切につきまして、国交省の方から改良すべき踏切という形で、指定を受けましたので、あちらの北側の道路につきましても、拡幅という形で、整備が進んでいくような状況である。

住民 危機管理という点から、緊急時には階段を利用するということですがもし1人2人がこけたら、その後からの将棋倒しという形になる。

金澤課長 避難の仕方について日頃から訓練をし、階段を使う場合には、内側を通ること外側を通ることを決める。倒れてしまうことも予想されるのでルール作

りをきちんとしていく。上履きもきちん履くとか、そういった指導も日頃からはしている。いずれにしても子供たちの安全確保が一番の重要な課題で、学校の方でもその辺は考えて指導してくれている。

住 民 子供さんが幾ら訓練しても、慌てちゃうと思う。これは何回訓練やっても、やはり失敗することもあるので、その危機管理ということについては教育委員会、市の方ともっと真面目に考えていただきたい。

住 民 水害の問題から何かいろいろお話が出たけれども、それ以外に危機管理の問題、非常に重要な話も伺った。私個人も小中一貫校、それから統合について、最初から反対しているわけではない。ただ、現在建設している本納中に豊岡小と一貫校の一環として、統合されるということについては非常に皆さん、反対の意見も多い。そこで笑い話の一つになるかもしれないが、もし令和5年に本納小学校と新治小学校が統合され、それで、いろんな問題について対応できないということであれば、豊岡小学校に来てほしい。豊岡小学校で受け入れる。危険なところで、子供たちに教育をさせるということではなくて、豊岡小でお迎えする。子供たちの教育環境が一番大事だと常に言っているわけですから、豊岡に来いって言う、意見もあったよと記録して、審議会にも諮っていただきたいと思う。